

## 産業構造審議会 グリーンイノベーションプロジェクト部会 分野別ワーキンググループの設置について

### 1. 設置趣旨

- 2050年までのカーボンニュートラル目標に向けて、2兆円の「グリーンイノベーション基金」が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)に造成された。基金を効率的・効果的に活用するため、有識者の参画を得て、令和3年2月にグリーンイノベーション部会が設置された。同部会では、基金事業全体を管理・運営するための基本方針を議論するほか、基金を用いて実施する研究開発プロジェクト全体の進捗状況の確認等を担うことになっている。
- 適正かつ効率的な事業執行に当たっては、産業分野毎の特性も考慮した上で、基本方針で示された評価軸に基づき、戦略的にポートフォリオを構築することが重要である。また、公募によりプロジェクトの実施者として選定された企業等の経営者に、長期的な経営課題として取り組むことへのコミットメントを求め、野心的な研究開発目標への挑戦を促すことも必要となる。
- このため、同方針において定められた支援対象分野のうち、関連性が強い技術・産業領域を束ねた複数のワーキンググループを部会の下に設置し、各プロジェクトの内容、優先度、予算規模等について意見を求めるほか、実施企業等の経営者との対話を通じたコミットメントの確認等を行うものとする。

### 2. 主な審議内容

- (1) プロジェクト毎の目標、研究開発項目、予算規模、スケジュール等の議論
- (2) プロジェクト実施企業等の経営者との対話を通じた、指導・助言
- (3) プロジェクトの取組状況の確認・改善点の指摘、部会への報告 等

### ※ 補足

- 「グリーン電力の普及促進分野」、「エネルギー構造転換分野」、「産業構造転換分野」の3つのワーキンググループを設置する。
- 産業構造転換分野ワーキンググループにおいては、対象分野のうち、自動車・蓄電池産業、半導体・情報通信産業、船舶産業、物流・人流・土木インフラ産業、食料・農林水産業、航空機産業のプロジェクトに関する審議を行う。
- なお、プロジェクトの組成やグリーン成長戦略の議論の状況を踏まえて、ワーキンググループの分類や数を見直す可能性がある。
- 各プロジェクトの内容（目標や予算規模等）は、プロジェクト担当課室の原案を分野別ワーキンググループで審議の上、同課室が、産業技術環境局と調整の上、必要に応じて修正を加え、最終的に決定する。